相生山緑地

オアシスの森ガイドブック

相生山緑地 オアシスの森くらぶ

相生山緑地とオアシスの森

相生山緑地は、名古屋市の東部に広がる丘陵地にあって市中心部から東南約10kmほどに位置しており、周辺はすべて区画整理事業によって宅地化が進んでいます。当緑地は、戦時下の昭和15年12月、当時の防空法と連動し防空緑地として都市計画され、以後数度の都市計画決定を経て、現在の形（面積123.7ha）に至っています。

緑地は、東西に走る標高10 ～ 60mの3つの台地と2つの谷筋から成り立っており、アカマツやコナラなどを主体とする雑木林が広がっています。ただ、最近では放置竹林の拡大等の問題が顕在化しています。

“相生山緑地オアシスの森”はこの相生山緑地の北部樹林地（約20ha）の地区を指し、借地手法を駆使した名古屋市独自の“オアシスの森づくり事業”第1号地として、1998年3月22日に開園しました。

相生山からの眺望（名古屋駅方面を望む）

シンボルツリーの1年

相生山緑地 オアシスの森くらぶ

オアシスの森開園に先立つこと2年、1996年3月に「第1回柴刈り大会」が開催されました。これは名古屋市が雑木林保全活動の基本である“柴刈り”を「この指とまれ」方式でやろうということで、専門家集団である「雑木林研究会」の協力を得て実施したものです。以降、地域の人たちにも呼びかけ、市民、企業、行政のパートナーシップにより年間2～3回のペースで実施してきました。

これと並行して、雑木林の管理手法を学び、継続的に関わる「人づくり」の場となるよう「雑木林インストラクター養成講座」（入門編、応用編）等を開催してきました。相生山緑地オアシスの森の開園と同時に、これら講座の受講生や柴刈り大会参加者のメンバーが中心となって、1998年3月「相生山緑地オアシスの森くらぶ」が誕生しました。会員の中には雑木林の魅力にひかれ、より身近な場所で森づくり活動を始めた人も多いようです。その意味からも当地は、名古屋における市民参加の森づくりの原点とも言えます。

当くらぶは、毎年、名古屋市と「緑のパートナー」協定を締結して、活動しています。

柴刈り前の暗い森

柴刈り後の明るい森

オアシスの森 の仲間たち

相生山緑地は、市街地の中に浮かぶみど りのオアシスです。まとまりのある緑は私たちに憩いと安らぎ、涼風や四季の変化を与えてく れるばかりでなく、ここに住む多様な生き物たちの楽園でもあります。オアシスの森の仲間 たちを少し紹介してみましょう。

アオキ 常緑低木 （実:10月～4月）

アオスジアゲハ

アケビ 落葉つる植物 （花:4～5月、実:9月～10月）

アズキナシ 落葉高木 （花:5～6月、実:10～11月）

ウスノキ 落葉低木 （花:4～5月、実:9月）

アゲハチョウ

エナガ

キジ

キミノズミ 落葉小高木 （花:5～6月、実:10月）

コバノガマズミ 落葉低木 （花:4～5月、実:9月～10月）

クチナシ 常緑低木 （花:6～7月、実:12～3月）

コシアキトンボ

コゲラ

ジョウビタキ

コバノミツバツツジ 落葉高木 （花:4月）

ツルグミ 落葉高木 （花:10～11月、実:5月）

ネジキ 落葉小高木 （花:6月）

タマムシ

チョウトンボ

トノサマガエル

ヤマハゼ・ヤマウルシ 落葉高木 （紅葉:10～11月）

コナラ 落葉高木 （花:4～5月、実:10月）

タカノツメ 落葉高木 （花:5～6月、黄葉:11～12月）

ヒキガエル

ヤマガラ

チャート（岩石）

相生山緑地案内地図

※駐車場は土・日・祝の午前９時～午後５時のみ利用可。

会員募集中！

体験参加も、もちろん大歓迎です。
お気軽にご連絡ください。

参加申込み
お問合せなど

【事務局】
伊藤　晶子　052-895-8523
中島ひろみ　052-803-9534

【E メール】
odate_bb@yahoo.co.jp

※会費は年間500円です。
主に連絡、郵送費です。

〈発行〉相生山緑地オアシスの森くらぶ
〈協力〉天白区役所地域力推進室
天白区島田二丁目 201 番地　TEL 807-3824
〈発行年月〉令和５年２月
表紙写真提供：国際総合企画㈱

竹林管理活動

日本では古くから、モウソウチク・マダケ・ハチクなどの竹林が人里近くの里山にありました。

竹は筍を食用とするばかりでなく、農業資材や日用品、工芸品などの材料として無くてはならないものでした。しかし、昭和30年代以降、プラスチックなどの代替品の普及によって、竹の利用はすっかり影をひそめてしまいました。一方、用がなくなった竹林は放置されることで、竹が密集してしまい、良いタケノコが出なくなるばかりでなく、周囲の雑木林に拡大を始めました。わずか2～3ヶ月で10mを越す成竹になってしまう竹は、雑木林を荒廃させる原因の一つとなっています。

健全な竹林の育成には、継続的な手入れが必要です。「オアシスの森くらぶ」では、相生口や山根口の竹林の手入れを定期的に行い、健全で美しい竹林づくりを目指しています。

あなたも竹林管理作業で気持ちのいい汗をかいてみませんか。

ハチクの筍

マダケの筍

モウソウチクの筍

竹林整備のようす

炭焼き

炭は昔から燃料として利用されてきた環境に優しい燃料です。

相生山では除伐した竹を材料にして竹炭を作っています。

秋に除伐した竹を数ヶ月天日乾燥した後、窯の中で蒸し焼きにして水分を抜いて炭にします。

炭は燃焼時に水分を出さず遠赤外線を放出します。これにより美味しく調理することが出来ます。

また炭は水の抜けた穴に臭いを取り込むので、消臭剤としての効果が高いのです。冷蔵庫の中に少量の炭を入れるだけで嫌な匂いが消えます。

間伐して捨てられた材料が、手間をかけることで有用な材料に変わるのです。

環境問題に興味がある方なら自らの作業を通して持続可能な社会について体感することが出来ます。

竹炭

炭焼き窯（左）と全景

ツツジの園づくり

相生山が里山として人々の暮らしに利用されていた頃、春になると山全体がツツジ色に染まったそうです。しかし、昭和 30 年代の「燃料革命」以降、里山は利用されなくなり、木が茂り、暗くなり、やがてツツジも花を咲かせなくなりました。

ツツジはやせ地にも耐える木ですが、日照を好む植物なので、森が暗くなると花芽を付けなくなります。オアシスの森のツツジの園も、以前はコナラやヒサカキが茂り、その陰でツツジたちは、花芽を付けられず、ひょろひょろと細長く、また、立ち枯れているものもありました。

オアシスの森くらぶでは、ツツジの園を復活させようと、枝打ちや、徐伐を行い、光環境を良くしました。するとツツジは元気を取り戻し、花芽をぴっしり付けるようになりました。また、落ち葉かきなどの作業で日光が当たるようになった地面からは、実生のツツジも現れました。春になるとオアシスの森では、コバノミツバツツジ、ヤマツツジ、モチツツジが次々と開花します。

皆さんもぜひお越しください。

ピンク色に染まる「ツツジの園」

コバノミツバツツジ

ヤマツツジ

モチツツジ

アカマツ林再生プロジェクト

かつて里山の尾根に必ず見かけられたアカマツ林。しかし近年では里山が手入れされなくなり、落ち葉が厚く積もり、樹木が密生し暗くなってきた尾根筋ではマツクイムシ被害が進み、枯れマツが目立つようになってきました。本来アカマツは、やせて乾燥した尾根筋で、菌根菌と共生しながら生育していました。落ち葉が厚く積り土壌が富栄養化すると、この菌根菌が活躍できなくなり、やがてアカマツも衰退していきます。アカマツ林に生えるといわれるマツタケも、この菌根菌の仲間なのです。「オアシスの森くらぶ」では、2001 年より、こうしたアカマツ林を再生するために、右の活動をすすめています。

アカマツ林再生プロジェクト

① 倒木の危険性のある枯れたアカマツを伐採し、片付けます。
② 林床に積もった落葉や腐葉土を取り除く「ゴウかき」という作業で、アカマツの生育に適した貧栄養な環境を整えます。
③ 実生苗を保護するとともに、生育を助けるための除伐を行い、光環境を改善します。

アカマツ林の整備

2002 年のアカマツの実生

2010 年、たくさんのアカマツの幼木が再生しました

再生が進むアカマツ林

生物多様性と各種環境講座

オアシスの森には水辺がほとんどないため、森くらぶでは山すその一画に「トンボ池」を作りました。水源は雨水だけですが、セリやオモダカの生える水辺にトンボのヤゴなど水生昆虫が多く育ち、トノサマガエルもやってくるようになりました。しかし、アメリカザリガニを放されてからヤゴの数が激減し、トンボ池はザリガニ池に変わってきています。

この他にも、落ち葉を集めて作った「ビートルアパート」や鳥の「巣箱」、また野菜を育てる畑づくりなど、生き物の生息環境を整える活動も森の整備と合わせて行っています。

こうした生物多様性を学ぶ各種講座の開催にも積極的に参加しています。「環境デー」など名古屋市のイベントや「天白もりのフォーラム」体験会、生涯学習センター講座など多くの市民を対象とした講座を運営しています。

ヤゴの観察

生涯学習センター講座

サマースクール・巣箱づくり

総合学習の支援

相生山緑地オアシスの森は、都市内に残された自然環境として近隣の小学校の自然体験の場として、総合学習の依頼を受けることが多くなってきました。

教室での森の説明に始まり、オアシスの森を散策しながらくらぶの活動内容を紹介します。荒れた竹林と整備された竹林の違いを実際に目で見て学びます。子供たちに人気があるのが、森に入っての竹の除伐体験です。切り倒した竹の枝払いをした後、それぞれ竹を切ってコップや箸を作りおみやげにします。時期によっては、ジャガイモなどの収穫体験や竹炭を使った焼き芋や竹卵焼き、焼き印コースターなど、オアシスの森ならではの愉しみも味わえます。

赤松林から名古屋駅方面を見る

竹切り倒し作業の見学

爆弾穴の見学